

JA共済    
地域貢献活動
REPORT 2020



農業のために 地域のために 明日のために

JA共済の
地域貢献活動

©2017 JA-KYOSAI

<https://social.ja-kyosai.or.jp/>



JA共済について

(協同組合、JAグループの一員として)

JAは、相互扶助の精神のもとに農家の営農と生活を守り高め、
よりよい地域社会を築くことを目的に、
組合員の運営参画により組織された協同組合です。

JA共済は、JAグループの一員として、
ひと・いえ・くるまの総合保障の提供(共済事業)を中心とした活動を通じて
組合員・利用者の皆さまの生活を支えています。

目次

- JA共済の取り組み ————— P2
- JA共済の地域貢献活動 ————— P5
- 営農分野の活動 ————— P7
- 暮らし分野の活動 ————— P9
- ひと分野の活動 ————— P11
- いえ分野の活動 ————— P13
- くるま分野の活動 ————— P15
- 各都道府県の主な活動 ————— P19
- WEBサイトのご紹介 ————— P34

共済事業と地域貢献活動の両輪で 地域の皆さまへ「安心」と「満足」を提供しています。

JA共済事業の使命

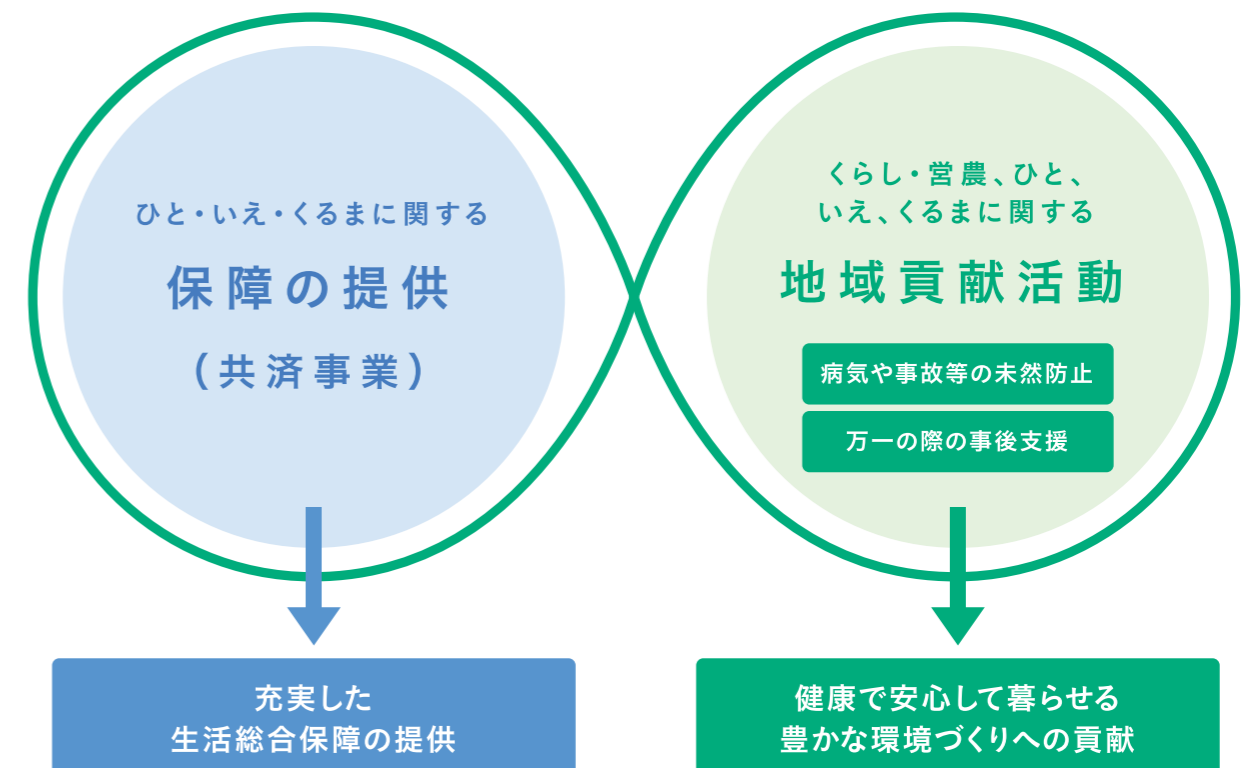
JA共済は、農業協同組合が理念とする「相互扶助」を事業活動の原点とし、
常に組合員・利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」を提供します。

JA共済は、最良の保障・価格・サービスによる「ひと・いえ・くるまの総合保障」の
提供を通じて、組合員・利用者の豊かな生活づくりに努めます。

JA共済は、事業活動の積極的な取り組みを通じて、
豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献します。

JA共済の取り組み




JA共済が実施する保障の提供と地域貢献活動(病気や事故等の未然防止と万一の際の事後支援)は
車の両輪の関係にあり、相互に機能することにより「安全・安心」の輪を広げてきました。
これからも保障の提供と地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、組合員・地域住民の皆さまが
住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献していきます。



共済事業と地域貢献活動を通じて、 多くの方のお役に立つことができました。

共済事業 ひと・いえ・くるまの総合保障

充実した保障を提供し、
皆さまの毎日の暮らしをバックアップしています。





 ひとの保障	●生命総合共済(保有契約) 加入件数 ————— 2,163万件 保障共済金額 ————— 103兆2,101億円
 いへの保障	●建物更生共済(保有契約) 加入件数 ————— 990万件 保障共済金額 ————— 142兆1,855億円
 くるまの保障	●自動車共済(保有契約) ————— 823万件 ●自賠償共済(保有契約) 加入台数 ————— 658万台
お役立て いただいた 共済金	共済金のお支払い 4兆1,372億円 万一のときや満期のときなどに共済金をお支払いすることで、 多くの皆さまのお役に立つことができました。

■「保有契約」は令和2年3月末時点、「共済金のお支払い」は令和元年度の実績



地域貢献活動 くらし・営農、ひと、いえ、くるまに関する地域貢献活動

健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりのために
さまざまな活動を展開しています。

 くらし・営農 分野の活動	●小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール これまでの応募点数 <書道> ————— 5,894万点以上 <交通安全ポスター> ————— 933万点以上
 ひと 分野の活動	●レインボー体操 これまでの参加人数 ————— 76万名以上 ●笑い与健康教室 これまでの参加人数 ————— 11万名以上
 いえ 分野の活動	●災害シートの無償配布 これまでの配布枚数 ————— 25万枚以上 ●仮設住宅の無償貸与 これまでの貸与棟数 ————— 2,100棟以上
 くるま 分野の活動	●世代別交通安全教室(幼児向け/生徒向け/シルバー世代向け) これまでの参加人数 ————— 292万名以上 ●安全運転診断(シルバー世代向け/全世代向け) これまでの実施回数 ————— 3,200回以上

■令和2年3月末までの累計実績



地域の皆さまが、 健康で安心して暮らせる 地域社会をめざして

日本の農村では古くから共同体をつくり、お互いに支え合い、助け合って暮らしを営んできました。「助け合い」の精神こそが、わたしたちJA共済の事業理念です。
わたしたちJA共済は、さまざまな地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、組合員・地域住民の皆さまが住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

「助け合い」の精神でさまざまな活動に取り組んでいます。



くらし・営農

心の豊かさや絆の大切さを次世代へ伝えるための文化支援活動や生活支援活動、環境保全活動、農業経営に貢献するための農業振興活動に取り組んでいます。

- 農業振興活動 ●文化支援活動 ●生活支援活動 ●環境保全活動



農業高校等への支援



食農教育活動の実施



小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクールの開催



ひと

元気な生活を送るために役立つ健康管理・増進活動をはじめ、介護・福祉活動など、助け合いの精神でさまざまな活動に取り組んでいます。

- 健康管理・増進活動 ●介護・福祉活動



レインボー体操の普及



笑いと健康教室の開催



介護医療機器等の寄贈



いえ

万が一に備える防災・防火対策活動のほか、自然災害などの被害にあわれた際の救援活動から復興支援活動まで、さまざまな活動に取り組んでいます。

- 災害救援活動 ●防災・防火対策活動 ●復興支援活動



災害シートの無償配布



仮設住宅の無償貸与



防災体験イベントの開催



くるま

交通事故のない社会をめざして交通事故の未然防止活動や交通事故被害者支援活動など、さまざまな活動に取り組んでいます。

- 交通事故未然防止活動 ●交通事故被害者支援活動



交通安全ミュージカルの開催



自動車安全運転診断の実施



「介助犬」の育成・普及支援



営農分野の活動

農業経営に貢献するために、食育イベントや農業体験の開催支援、新たな担い手のための支援をはじめ、さまざまな農業振興活動に取り組んでいます。



食育イベント・ 農業体験の開催支援

健全な食生活を実現するために食農教育活動に取り組んでいます。
農業体験学習や親子料理教室は、小学校と連携した取り組みも多く、多様な組織と連携して実施することから、地域とのつながり強化にも貢献しています。



参加者の声

- 地元の野菜や自然がもっと好きになりました。
- 野菜を育てる体験を通じ、農業を身近に感じられるようになりました。

農作業効率化の支援

農作業の軽労化・効率化支援を目的に、先進機器等(ドローン等)を寄贈しています。
農作業時の負担を軽減したり、作業時間を短縮することで、農業者の所得増大・農業生産の拡大に貢献しています。



喜びの声

- 作業時間が短縮され、真夏の熱中症対策にもつながりました。
- ドローンは至近距離で農薬を散布することができるので高い効果が期待できます。

農業高校等への支援

農業の担い手育成支援を目的に、農業大学や農業高校等に対し実習用の農業機械・機具等を寄贈しています。
学習環境の整備を図り、将来の農業後継者の人材育成に貢献しています。



喜びの声

- トラクターを寄贈していただいたおかげで、大型特殊免許を取得することができました。
- 将来、地域農業で活躍できるような人材を育成できるよう活用していきたいです。



くらし分野の活動

心の豊かさや絆の大切さを次世代へ伝えるために、文化支援活動など地域に根ざしたさまざまな活動に取り組んでいます。



小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクールの開催

次代を担う小・中学生の皆さんに、「相互扶助」と思いやりの大切さを伝えるとともに、書写教育に貢献することを目的に書道コンクールを、交通安全への意識を高め幅広く社会に呼びかけることを目的に交通安全ポスターコンクールを開催しています。

令和元年度の第63回書道コンクール、第48回交通安全ポスターコンクールにはあわせて152万点を超える応募があり、歴史・規模・質どれをとっても日本を代表する大きなコンクールとなっています。



令和元年度 第63回書道コンクールの応募点数:約137万点

令和元年度 第48回交通安全ポスターコンクールの応募点数:約15万点

日本リトルリーグ野球協会・ 日本リトルシニア中学硬式野球協会への協賛

「野球というチームプレーを通じて健全な社会性を養い、もって国際人として強健な身体と健全な精神の涵養に寄与すること」を目的とした日本リトルリーグ野球協会および、「高校野球までの間に硬式野球ができる環境を整えること」を目的とした日本リトルシニア中学硬式野球協会の活動に協賛しています。

同協会への協賛を通じて、健康で健全な子どもたちの育成や豊かな社会づくりに貢献しています。



全国小・中学校リズムダンス ふれあいコンクールへの協賛

「小・中学生の豊かな人間性の育成や体力の向上」を目的とした全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールの活動に協賛しています。同コンクールへの協賛を通じて、助け合い・支え合いの大切さを次世代に伝えています。





ひと分野の活動

元気な生活を送るために役立つ健康管理・増進活動をはじめ、介護・福祉活動など、助け合いの精神でさまざまな活動に取り組んでいます。



レインボー体操の普及

JA共済オリジナルの健康体操です。心臓に負担をかけないやさしい動きで、全身の血液の流れをよくする体操です。立っても、座っても、寝ていてもできますので、体力に自信のない方、お年を召した方にも安全に行っていただけます。いろいろな音楽にあわせて楽しく体を動かしながら、病気予防・健康づくりを推進しています。



参加者の声

- 研修を終えた頃には、体が軽くなりました。
- 飛んだり跳ねたりしていないのに、体が大変温かくなって驚きました。

令和元年度の参加人数：約17,800名

笑い与健康教室の開催

「笑い」が心や体によいということは医学的にも証明されつつあり、最近では病気の予防や治療においても注目されています。健康増進活動のひとつとして「笑い与健康」の関係に着目したプログラムを開発し、「笑い」の効果とその仕組みについて学び、実際に体験する「笑い与健康教室」を開催しています。



参加者の声

- 健康に対する意識づけになり、笑いの大切さを実感しました。
- 楽しみながら健康になれるということで有意義な時間を過ごせました。

令和元年度の参加人数：約4,200名

健康・介護ほっとラインの開設

生活習慣病予防や肥満などの健康相談、医療機関の情報提供、育児・介護などのご相談を専門スタッフがフリーダイヤルでお受けしています。

シアワセイチバン コンサルタント
0120-481-536

無料 受付時間 24時間・365日
看護師・介護支援専門員(ケアマネージャー)・医師(精神科・心療内科を除く)・栄養士による親身な対応
●お名前は伺いませんので安心してご利用ください。



令和元年度の電話件数：約4,500件

JA共済の宿泊保養施設の運営

「契約者サービス」および「組合員に対する健康管理・増進活動への支援機能」として、全国10か所の宿泊保養施設を運営しています。

<https://www.ja-kyosai.or.jp/gokeiyaku/facilities/>



いえ分野の活動

万が一に備える防災・防火対策活動のほか、自然災害などの被害にあわれた際の救援活動から復興支援に至るまで、さまざまな活動に取り組んでいます。



災害シートの無償配布※

自然災害などでお住まいが壊れてしまった方に、JAを通じて災害シートを無償で配布しています。東日本大震災、熊本地震などでも災害シートをお配りし、ご契約者さまとご家族の、災害からの復興に向けたサポートをしました。



令和元年度の配布枚数：約22,000枚

仮設住宅の無償貸与※

火災などでご自宅に居住できなくなった方に、仮設住宅を8か月間無料でお貸ししています。住宅だけでなくキッチン・トイレ・お風呂など、暮らしに必要な設備をあらかじめ備えています。



令和元年度の貸与棟数：約20棟

※JA共済のご契約者さまで一定の要件を満たす場合に限りです。



くるま分野の活動

交通事故のない社会をめざして交通事故の未然防止や交通事故被害者支援など、さまざまな活動に取り組んでいます。



JA共済アンパンマン交通安全キャラバンの開催

「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」が全国を巡回し、歌や踊りを通じて幼児に交通ルールを伝えます。小さなお子さまに人気のJA共済のイメージキャラクター「それいけ!アンパンマン」。アンパンマンたちと交通ルールを学び、親子で交通安全について考える時間を提供しています。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

参加者の声

- 交通安全について考える機会となり、子どもも楽しく参加できました。
- 年長の子が来年小学校まで歩いていくのが心配だったので、とてもよい機会になりました。
- 子どもが参加できるイベントがあるのは大変ありがたいです。今後も楽しみにしています。

令和元年度の参加人数：約153,100名

親と子の交通安全ミュージカル「魔法園児マモルワタル」の開催

就学前の幼稚園・保育園児と保護者を対象とした、ミュージカル形式の交通安全教室を全国各地で開催しています。このミュージカルは、舞台の上の横断歩道で園児が実際に体験できるなど、客席の園児、保護者の皆さんと舞台がひとつになって、楽しみながら交通ルールを学べる構成となっています。



参加者の声

- コミカルなミュージカルの中で交通ルールの大切さが楽しく学べました。
- 子どもたちによくわかるクイズ形式などを取り入れた参加型のプログラムでとてもよかったです。
- 繰り返しルールを確認しているので、子どもたちもしっかり理解できたと思います。

令和元年度の参加人数：約12,400名

自転車交通安全教室の開催

中学校や高等学校で行われる交通安全教室の際、危険な自転車走行にともなう交通事故の実演(スタントマン)により、危険性を疑似体験させる教育手法(スケアード・ストレイト方式)を警察等と連携し、推進しています。



参加者の声

- トラックの内輪差は予想以上で、車道から離れて待つようにしようと思いました。
- 目の前で実際の交通事故事例を見て、改めて交通事故の恐ろしさを実感しました。
- 自転車も人の命を奪ってしまう乗り物だということがわかり、事故の恐ろしさを感じました。

令和元年度の参加人数:約72,900名

交通安全教室の開催

高齢者の交通事故を防ぐために、「シルバー世代向け交通安全教室」を開催しています。JA共済オリジナルの「交通安全落語」で笑いながら交通安全の意識を高め、「レインボー体操」で身体機能の低下を予防。誰でも楽しく参加できる内容になっています。



参加者の声

- 交通安全の意識が再び高まりました。明日からまた気をつけていきます。
- とても楽しい落語をありがとうございました。大変楽しく有意義な時間でした。

令和元年度の参加人数:約13,400名

自動車安全運転診断の実施

高齢ドライバーの交通事故を防ぐために、ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」を全国に4台配置し、巡回型の安全運転診断を行っています。過去の事例を参考に、事故を起こしやすい場面を再現したドライビングシミュレーターを使い、5～14分程度の体験で安全運転のアドバイスが受けられる内容となっています。



参加者の声

- 年齢が高くなり、運転を見直すきっかけになりました。
- 注意すべき点がたくさんあると再認識しました。
- 注意力が低下していたことに気付くことができました。

令和元年度の参加人数:約3,000名

自転車安全運転診断の実施

自転車事故防止を目的として、全世代を対象に、自転車シミュレーター搭載車両「すまいる号」を全国に4台配置し、巡回型の自転車の安全運転診断を行っています。5～10分程度の体験で自転車乗用の交通ルールや危険予測を実践的に学習できます。



参加者の声

- 自転車は教習所がないので、交通ルールや違反について学ぶよい機会でした。
- 左右後方確認でき、現実感があっておもしろかったです。
- 止まって確認することの大切さを再認識することができました。

令和元年度の参加人数:約9,200名

「介助犬」の育成・普及支援

交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活を介助する「介助犬」の育成・普及支援に取り組んでいます。社会福祉法人日本介助犬協会の事業の支援や、NPO法人日本補助犬情報センターへの研究支援、介助犬によるデモンストレーション「ガンバレ!介助犬! JA共済はたらくワンワンランド!」を開催しています。



参加者の声

- 具体的な「介助犬」の活動を知ることができてよかったです。
- 「介助犬」がもっと世の中に認知されることを願っています。

令和元年度の参加人数:約6,600名

社会復帰支援のための リハビリテーションセンターの開設

静岡県の中伊豆と大分県の別府に、交通事故等による身体障がい者の社会復帰支援を目的としたリハビリテーションセンターを開設しています。これら2つのリハビリテーションセンターは、「病院」「福祉施設」「介護施設」の3つの機能を持った全国でも数少ない総合型の施設です。1973年の設立以来、「身体障がい者のしあわせ」と「福祉社会の建設に寄与すること」を理念として交通事故被害者などの社会復帰をお手伝いしています。



社会福祉法人 農協共済
中伊豆リハビリテーションセンター



社会福祉法人 農協共済
別府リハビリテーションセンター



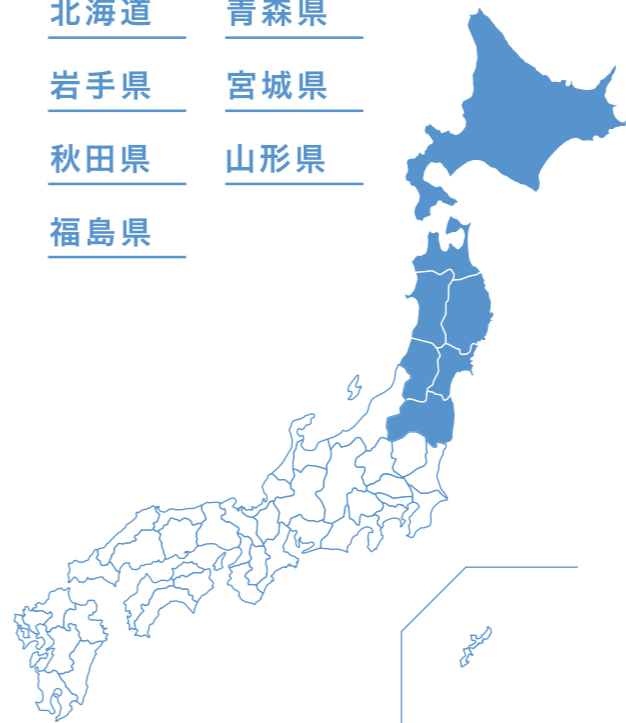
各都道府県の主な活動

安全・安心な地域社会の実現や地域の皆さまの健やかな生活を守るために、全国各地で地域のニーズに応じた地域貢献活動に取り組んでいます。
ここでは、その一部をご紹介します。



北海道・東北エリア

- 北海道
- 岩手県
- 秋田県
- 福島県
- 青森県
- 宮城県
- 山形県



北海道

地域の災害対策のために 非常用給水タンク10万個を配布

大規模災害による断水時の飲用水や生活用水の確保に役立つ、「非常用給水タンク」10万個を組合員をはじめとする地域住民に配布しました。この取り組みは、平成30年北海道胆振東部地震の際に全道で停電が続き、断水が長期間継続したことを受けて行ったもの。「災害時の備えを考えるきっかけになりました」などの反響をいただいています。



青森県

「ヘルスアップ講座」の開催により 地域の皆さまの健康を支援

JAの組合員とその家族および地域住民を対象に、健康に関する講演、およびヘルスチェックを通じて、健康維持・管理に対する意識の高揚を図ることとあわせて「笑い」が健康に与える効果に着目したイベントを実施しました。プログラムは、医師による講演・ヘルスチェック、JA共済オリジナルのレインボー体操のほか、人気落語家によるお笑いイベントを実施。3つの会場で計1,000名以上の方にご来場いただき、参加者からは「また参加したい」との声をいただきました。



岩手県

未来の農業の担い手支援のため 県内農業関連高校へ農業機器等を寄贈

農業後継者である若い担い手の育成・確保、農業生産技術に関する実習環境の充実を図ることを目的に、平成30年から県内農業関連高校へ実践教育用農業機器等を寄贈しています。令和元年度は県内農業関連高校6校に対し、田植機やトラクター等合計36台(式)の農業機械を寄贈。各校の校長先生から「農業機械を活用し、農業に貢献できる人材を育てていきたい」などの感謝の言葉をいただきました。



宮城県

スポーツを通じて絆を育む 少年野球大会を開催

JA共済が掲げる「相互扶助」の理念のもと、野球を通じた地域少年の健全育成と交流、「人と人の絆」を大切にする地域社会づくりへの貢献を目的に「第13回 JA共済少年野球宮城県大会」を開催しました。大会には、県下10JAから選出された16チーム・320名が出場。保護者の方々からの熱い声援と、声援に応える選手の気迫あふれるプレーに会場が一体となり、互いの絆を深め合う機会となりました。



秋田県

子育て応援イベントに参加し 安心して暮らせる地域づくりに貢献

地域の子どもたちを社会で支え合う環境の整備とネットワークづくりをめざし、産・官・民が一体となって開催する「子育て応援団 すこやかあきた2019」に参加。当日は、秋田のご当地ヒーロー「超神ネイガー」による交通安全教室を開催し、子どもたちに交通ルールの大切さを伝えました。JA共済ブースには「JA共済オリジナルガチャガチャ」を設置。子どもや保護者の方々から好評をいただきました。



関東・甲信越エリア

- 茨城県
- 群馬県
- 千葉県
- 神奈川県
- 長野県
- 栃木県
- 埼玉県
- 東京都
- 山梨県
- 新潟県



茨城県

子どもたちを交通事故から守るため 交通安全帽子を寄贈

子どもたちの交通事故未然防止に向けて、県内の小学校新入学児童へ交通安全帽子（黄色い帽子）25,000個を寄贈しました。昭和51年度から始まった本取り組みは、今年で44回目。現在までに約159万人の子どもの安全を守ってきました。寄贈式では、県知事から「少子化が進む中、子どもたちは貴重な宝。このような取り組みを有効に活用していきたい」と感謝の言葉をいただきました。



山形県

実習用農業機械等を寄贈し 担い手育成を支援

地域農業振興と農業後継者の育成支援を目的に、県内の農業系学校へ実習用農業機械等を寄贈しました。本取り組みは、学校が保有する機械等の老朽化により、実習に支障が出ている実態を受けて寄贈したものです。寄贈先の学校では、寄贈式、寄贈品のコンバインを使用した稲刈り実演等を行いました。最新鋭の農業機械により、安全で快適な環境で学生たちが農業技術を習得できることを願っています。



福島県

子育て世代を支援するため ファミリー向けコンサートを開催

未来を支える次代の家族を支援することを目的に、「はいだしょうこwithきよこ&恵畑ゆうファミリーコンサート」を2会場で開催。抽選で選ばれた約300組のご家族と特別支援学校の児童、あわせて約1,000名を各会場へ招待しました。コンサートでは、NHK「おかあさんといっしょ」でうたのおねえさんを務めたはいだしょうこさんが12曲を披露。来場者は親子で楽しいひとときを過ごしました。



栃木県

農業実習用機械・器具の寄贈により 次代の担い手育成を支援

次代を担う農業者の育成に貢献することを目的に、栃木県立農業大学校および栃木県内の農業関連高校8校に対して、農業実習に使用する農業機械・器具を寄贈しました。寄贈品は、乗用溝切機や自動選別計量器、低温貯蔵庫、トラクター等計15品目。寄贈先の学校から「機械を大切に扱い、今後の生徒の教育に大きく役立て、地域の農業者育成につなげていきたい」などの感謝の言葉をいただいています。



群馬県

農業者支援のため 農機具等を無償で貸出

農業経営の安定化と農業者の所得増大を目的に、県内の新規就農者、農家・組合員のニーズに応じて農機具等を無償で貸し出しています。「農機具のおかげでよい品物ができた」との反響をいただくなど、作業負担の軽減、作付面積の拡大や新たな品目づくり、新規就農者の支援にも役立っています。



埼玉県

地域イベントに出展し 子どもたちに交流の場を提供

都市と農山村の交流、農林水産業や農産物に対する理解促進を目的とした「2019 彩の国食と農林業の祭典ドリームフェスタ」に出展し、子ども向けの「大型バルーン遊具」や「地震体験車両」を設置しました。当日は子ども連れの来場者が多く訪れ、何度もブースに並ぶ子どもたちがいるほどの大盛況。たくさんのご家族から喜びの声を聞くことで、地域とのつながりを感じることができました。



千葉県

児童・生徒と教職員の感染症予防に向け 非接触式電子温度計を寄贈

県内の児童・生徒と教職員の新型コロナウイルス感染症予防を目的に、県下全ての小・中学校と特別支援学校の小・中学部へ非接触式電子温度計を計1,216個寄贈しました。本取り組みは、例年開催していた「千葉県小・中学生書写・交通安全ポスターコンクール」が感染症の影響で中止されたことを受け、これまでの感謝の気持ちを込めて実施したものです。寄贈先の学校からは、たくさんの感謝の声をいただきました。



山梨県

青少年の健全な成長を願い 少年野球大会に協賛

県内のスポーツ振興と青少年の健全な育成をめざして開催された「第56回山日YBS杯山梨県少年野球大会」に協賛。大会には、県下16地区・約100チームによる地区大会を勝ち抜いた17チーム・約340名の選手が出場しました。県内最大規模を誇り、地元野球少年たちの目標でもある本大会。今回は「令和初の王者」という栄冠をめざして熱戦が繰り広げられ、少年たちが懸命にボールを追う姿が感動的でした。



長野県

たすきリレーで想いをつなぐ マラソンイベントに特別協賛

10名以下のチームでたすきリレーを行い、約1.4kmの特設コースを3時間で何周できるかを競う「第3回JA共済presents みんなでつなぐ3時間リレーマラソン」に特別協賛しました。当日は県内外から74チームが参加し、応援の方も含めて500名以上が来場。揃いのユニフォームに身を包んだチームや仮装をする参加者が会場を盛り上げる中、参加した全チームが見事に完走を果たしました。



東京都

農業イベントを開催し 幅広い年代に東京農業をPR

週替わりで農業や食に関する催しを行うイベントスペース「JA東京アグリパーク」で、東京農業のPRイベントを実施しました。農業をテーマにした合成写真を撮影した方に、東京産の農産物等で作るスムージーを提供したほか、撮影画像のSNS投稿を促し、若年層に向けたPRも行いました。当日は地域住民のほか、サラリーマン・OL、学生、観光客まで多くの方が来場され、たくさんの反響をいただきました。



神奈川県

小学生バレーボール大会で 子どもたちの健全な成長を支援

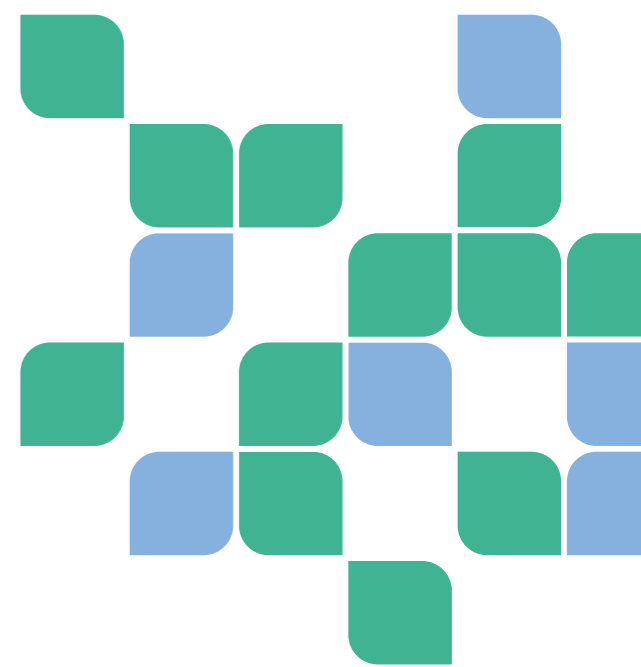
子どもたちや地域の皆さまとの接点づくり、スポーツ振興による地域活性化を目的に、「JA共済杯神奈川県小学生バレーボール大会」に協賛。男子・女子・混合チームがそれぞれ優勝をめざし、熱い戦いを繰り広げました。決勝大会会場には、絆プロジェクトの特設ブースを設け、選手が書いた「日頃なかなか言えない感謝の気持ち」を掲示。選手やコーチ、家族の絆を深める機会となりました。



新潟県

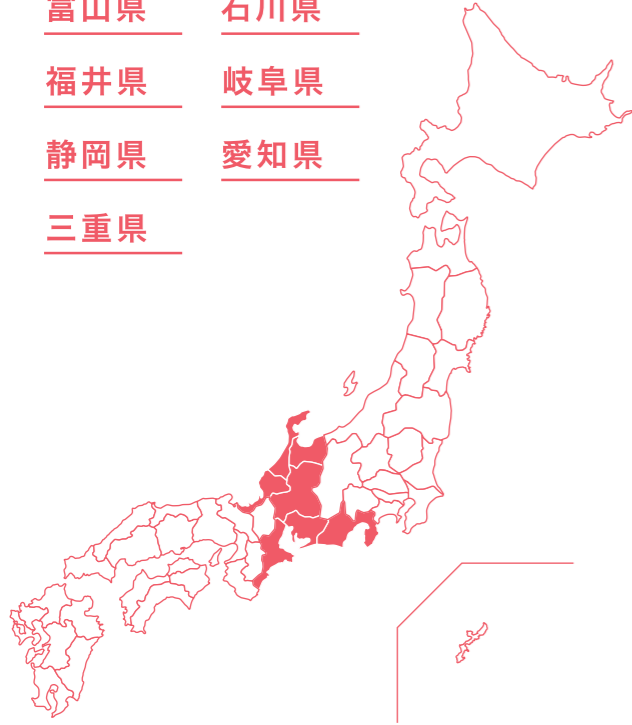
ゴミ拾いキャンペーンに参加し きれいなまちづくりに貢献

「きれいなまち新潟市」をめざして市が毎年開催する「ポイ捨てやめようキャンペーン」に参加しました。職員とその家族が、新潟市内の万代、古町、駅南地区の3会場でゴミ拾いを実施。キャンペーンには約650名が参加し、集まったゴミの量は計108kg。年々減少しているという事実は嬉しい反面、いまだに100kgを超えるゴミが集まることから、これからも継続して本キャンペーンに参加する予定です。



東海・北陸エリア

富山県 石川県
福井県 岐阜県
静岡県 愛知県
三重県



富山県

交通事故の未然防止を願い 県下市町村にカーブミラー100基を寄贈

秋の全国交通安全運動期間中、県下市町村に計100基のカーブミラーを寄贈しました。本取り組みは平成4年から毎年実施しており、寄贈台数は令和元年度分をあわせて累計2,800基。各市町村の交差点や危険箇所へ設置され、安全な地域環境づくりに役立てられています。寄贈式では、富山市副市長から「道路の安全対策強化のためにも毎年の継続はありがたい」と謝辞をいただきました。今後も交通事故のない町づくりに貢献していきます。



岐阜県

母子手帳ケース配布をきっかけに 県内の子育てを支援

岐阜県で母子手帳を受け取る全ての妊婦さんに、オリジナル母子手帳ケースを配布。中にはJA・JA共済が実施している地域貢献活動の概要を紹介するカードを封入しています。また、子育てを継続的に支援できるよう、子育て支援SNS「JA共済こそだてひろば(岐阜県)」を立ち上げ、LINEで友だち登録いただいた方には、育児に関する様々なお役立ち情報を定期的に発信しています。



静岡県

バス車体広告を活用し、 地域の皆さまへ交通安全を啓発

県下6バス会社・15運行エリア(営業所単位)で運行するバスを対象に、交通安全を啓発する車体広告を平成29年度より実施しています。令和2年4月からは車体デザインを一新し、色鮮やかなピンク色にラッピングされたバスが静岡県下を運行。農業地域も行き交う路線バスの車体広告により、バス利用者のほか、周囲のドライバーやその同乗者等、多くの方々に対する交通安全啓発につながりました。



石川県

地域の自転車交通安全意識を 啓発する大会を支援

交通安全意識啓発を目的に石川県交通安全協会と石川県警察本部が主催する「第51回 交通安全子供自転車石川県大会」に協力。大会には県下14小学校から21チーム・84名が出場し、交通ルールや道路標識等に関する「学科テスト」、自転車の正しい乗り方と安全な走行を評価する「安全走行テスト」などの競技を行いました。また、地域住民に向けた啓発を目的に大会の様子をテレビ番組およびCMで放映しました。



福井県

「交通安全指導車」の寄贈により 安心・安全な地域づくりに貢献

人身・物損事故ともに減少傾向にある一方で、依然として高齢者の事故やあおり運転がみられます。このため県内の交通マナー向上や交通事故防止を目的に、マイクやスピーカーを搭載した「交通安全指導車」を福井県警察本部に寄贈しました。平成28年度から本取り組みを実施しており、4台目の寄贈となる今回の車両は、敦賀署に配備され、交通安全啓発に役立てられます。



愛知県

地元農業の活性化を図る テレビ番組を制作・放映

地元農業に対するイメージアップと地域の活性化を目的に、県下JAの特産品をテーマとしたテレビ番組を制作しました。本番組は生産者へのインタビューや特産品の収穫体験、調理方法、産直施設の紹介など、農業全般について学ぶことができます。また、SNSによる情報発信を順次行い、次世代層との継続的なつながりづくりも併せて行いました。



三重県

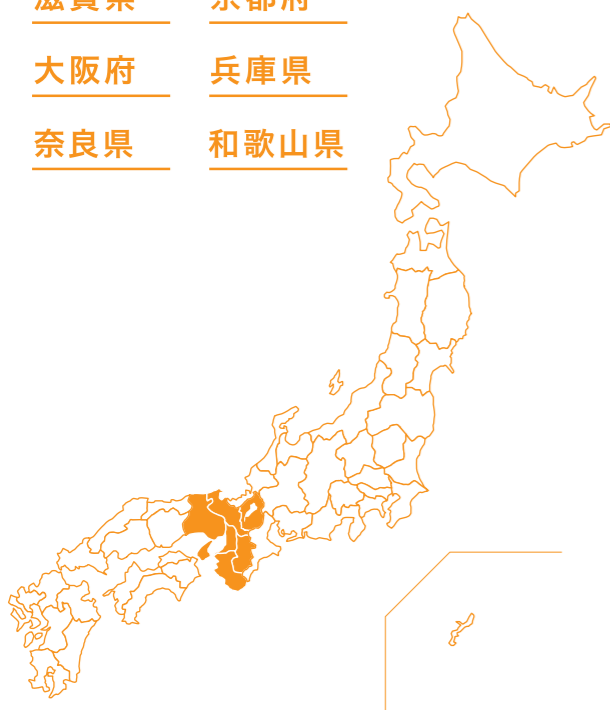
少年たちの健やかな成長のために 少年サッカー大会を開催

次代を担う少年たちの健全な心身の発育を願い「JA共済カップ 三重県少年サッカー大会(U-11)」を平成20年から毎年開催しています。第12回となる令和元年度大会には、少女の部5チームを含む計115チームが参加。チームの仲間や家族の声援を受けた選手たちが、時折降る雨を吹き飛ばすような精一杯のプレーを繰り広げました。これからもスポーツを通じて、子どもたちの健やかな成長に貢献します。



近畿エリア

滋賀県 京都府
大阪府 兵庫県
奈良県 和歌山県



滋賀県

子どもたちに スポーツの楽しさを伝えるため バスケットボール教室を開催

平成20年から継続して、B.LEAGUE I部に所属するプロバスケットボールチーム滋賀レイクスターズの選手による学校訪問「JA共済 Presents レイクスキャラバン-選手学校訪問-」を実施。「子どもたちの心身の健全育成」「スポーツの楽しさを体験してもらう」「県内におけるバスケットボールの一層の普及」を目的に、プロ選手とコーチの指導のもと、ドリブルリレーやシュートゲーム等を行いました。



兵庫県

将来の担い手育成に向け 実習用の最新農機具を寄贈

「将来の担い手に、より実践的で充実した学習環境で学んでいただきたい」との思いから、県内の農業大学、農業高校に実習用の農機具・設備を寄贈。本取り組みによって十数年前の機器を使っていた実習に最新機器が導入され、授業内容の高度化および、学生の学力・技術の向上に役立てられました。学生や先生方からは「これまでできなかった、より科学的な実習ができた」などの声をいただいています。



奈良県

学童野球大会への協賛により 次代を担う学童の成長をサポート

次代を担う学童の健全な育成・社会マナーの習得を願うとともに、次世代層や地域住民とのつながり強化をめざして開催する「JA共済杯 第16回やまのべ学童親善野球大会」に協賛。大会には県内68チームが参加し、白熱した試合が繰り広げられました。本大会は次年度に向けた新体制チームのスタートの場でもあり、参加チームから「選手たちの貴重な経験になります」などの声をいただきました。



京都府

子どもたちの成長を支援する 少年サッカー大会を開催

小学生5年生以下を対象とした「JA共済カップ第39回京都招待少年サッカー大会」を開催しています。第39回となる令和元年度大会は9月22日・23日の両日、京都市左京区の宝が池球技場で開催され、府内5チーム、府外7チームの計12チームが参加しました。気迫がぶつかり合う激闘の末、優勝が「JFAトレセン大阪」、準優勝が「JFAトレセン京都東」、第3位が「JFAトレセン京都東南」となりました。これからも未来を担う子ども達の活躍の場をつくり、健全な成長を見守っていききたいと思います。



大阪府

地域住民との交流を深める クリスマスイベントを開催

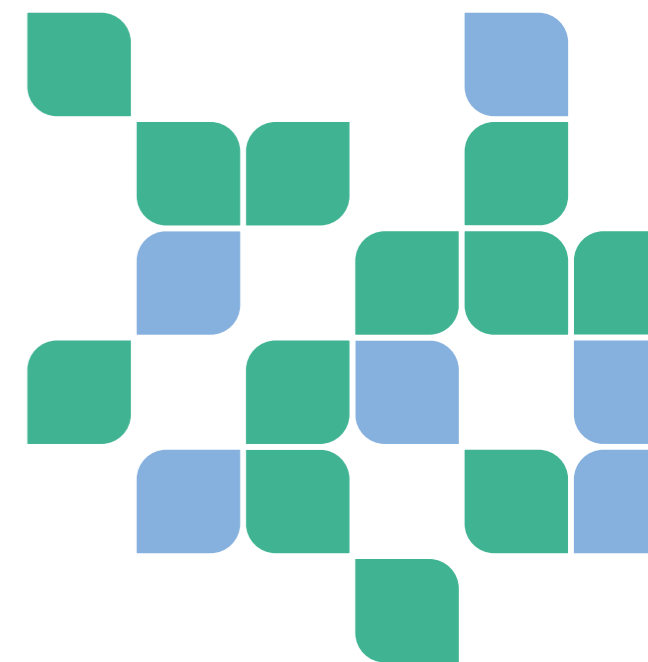
地域の子どもたちとのふれあい、思い出づくりの場の提供と、大阪産野菜・果物のPRを目的に、第2回目となるクリスマスイベントを開催しました。当日は、大阪産農産物の即売会と、輪投げやオリジナルフォトフレーム作りなどの子ども向けイベントを実施。子ども連れのご家族をはじめ多くの方に来場いただき、「来年の開催も楽しみにしています」などの声をいただいています。



和歌山県

実習用機材を寄贈し、 担い手育成を支援

地域農業振興と農業経営の安定化に資するため、将来の農業担い手を育成する農林大学校と農業系の学科を持つ県立高校4校に農機具等の実習用機材を計13品目寄贈しました。和歌山県農林大学校で催された寄贈式では、県知事から感謝状をいただいたほか、和歌山県教育委員会教育長から「今後も県とともに取り組んでいただきたい」などの謝辞をいただきました。



中国・四国エリア

鳥取県 島根県
岡山県 広島県
山口県 徳島県
香川県 愛媛県
高知県



鳥取県

マスク等の寄贈により 感染症予防対策を支援

県内の高齢・介護・障がい・養護・母子等の福祉対象者、関連施設従事者の新型コロナウイルス感染症予防対策の支援を目的に、マスク1万枚と衛生除菌水100個を鳥取県社会福祉協議会へ寄贈。「需要は今後も増えてくると思うので大変ありがたい」と謝辞をいただいたほか、寄贈先の児童養護施設から礼状が届くなど、活動を通じて安心・安全な地域環境づくりに貢献することができました。



広島県

テレビミニ番組「夢キラリ」で 夢を持つ子どもたちを応援

スポーツや文化活動に全力で打ち込む県内の子どもたちを紹介するテレビ番組「夢キラリ」をTSSテレビ新広島で毎週放映しています。番組では、陸上や球技等のスポーツ、神楽や書道など、さまざまなジャンルで活躍する小学生から高校生までを紹介。日頃行っている活動に加え、「自分を支えているもの」や「将来の目標」についてのインタビュー等、子どもたちの想いを深掘りして紹介しています。



山口県

「生産者の顔が見える」直売所CMで 地産地消の活性化を後押し

県下20店舗の直売所のCMを制作し、平成31年4月から約2年間、毎月70回ほど放映しました。CMは、直売所のお米、野菜、果物等が地元産の安心・安全なものであることをPRする内容で、農作物を手入れする様子や出荷風景等、生産者の顔が見えるシーンを盛り込んだほか、直売所の職員が出演することで直売所の認知度の向上を図っています。放映後は、たくさんの反響をいただきました。



島根県

安心・安全な地域づくりのために 防犯カメラ100台を寄贈

安心して暮らせる地域づくりの支援や犯罪の未然防止に貢献すべく、平成28年度から島根県防犯連合会へ防犯カメラを寄贈しています。5回目となる令和2年度は100台を寄贈し、寄贈数は累計で480台。近年は交通事故や高齢者の行方不明事案等の解決に防犯カメラの映像が活用されるケースも多く、県内各所に設置された寄贈品が安心・安全な社会の実現に向けて役立てられています。



岡山県

農業系高校の教育を支援し 次代を担う農業者の育成に寄与

県内の農業教育の振興を目的に、農業関連の学科を持つ県立高校に対して「スマート農業学習プログラムの開発事業」の支援と、教員を対象とした「刈払機取扱作業安全衛生教育」の講習会を実施。ドローンを使用し、生育状態のモニタリングやプログラミング学習をしたり、環境制御システムを導入し農場・温室の管理をするなど、実践的なスマート農業の学習を推進することができました。



徳島県

地域に根ざした子育て支援のために 母子手帳ケース計5,605個を寄贈

JAを通じて、県内の自治体に母子手帳ケース計5,605個を寄贈しました。平成29年度から本取り組みを実施しており、3年目となる令和元年度で県内全ての市町村に寄贈することができました。A5サイズのケースは、母子健康手帳や診察券、印鑑などを入れ、妊娠中から出産後まで長く活用いただけるようにという想いを込めて制作したもの。各自治体で母子健康手帳交付時に配付されています。



香川県

地域の農業活性化に向けて JA香川県初の体験型農園を支援

地域の皆さまに農業への理解と親しみを持っていただくことを目的に、JA香川県で初めて開設した体験型農園「讚さんファーム」のイベントスペース設置や中古農具等の支援を行いました。農園では利用者の方に作付けから収穫まで楽しんで体験いただけるよう、年に数回、JA職員による栽培講習会や交流会等のイベントを開催しており、JAと地域住民の交流の場になっています。



愛媛県

災害対策用ドローンの寄贈により 人命救助・早期復旧を支援

平成30年の西日本豪雨をはじめ、昨今の自然災害の増加を受け、小型で機動性に優れたドローン(付属品含む)8機を愛媛県に寄贈しました。本取り組みは、災害発生時の迅速な状況把握による人命救助や、被害状況の正確な把握による早期復旧への支援が目的。「想像以上に画像が鮮明」「動きがスムーズ」などの反響をいただき、時代に即した地域貢献活動を行うことの重要性を感じました。



高知県

地域の消防・救命救急 体制の充実のため 専用の救急資機材を寄贈

高知県は山間部が多く、救急活動の現場でさまざまな専用資機材を必要としている実態等を受け、昭和48年度から県内の消防機関に対して車両や資材を寄贈しています。今年度は、県内2つの消防組合へ消防用自動車、消防指令車、パワー移動式高圧コンプレッサー、レサシアン シミュレータPLUS等を寄贈。近年自然災害が多発する中で、県内の消防・救命救急体制充実に役立てられます。



佐賀県

直売所・農園を巡るバスツアーで JAの取り組みを 地域の皆さまにご紹介

“安全でおいしく新鮮な農畜産物”の提供や、農業活性化に向けた取り組み等、JAの事業活動を普段はJAとの接点のない地域の皆さまに理解いただくため、県内のJA直売所と農園を巡る日帰りバスツアーを実施。さつまいも収穫、酪農体験、みかん選果場見学、お茶の釜炒り、直売所での買い物等、4コース・全5回で計134名の方が参加され好評をいただきました。



長崎県

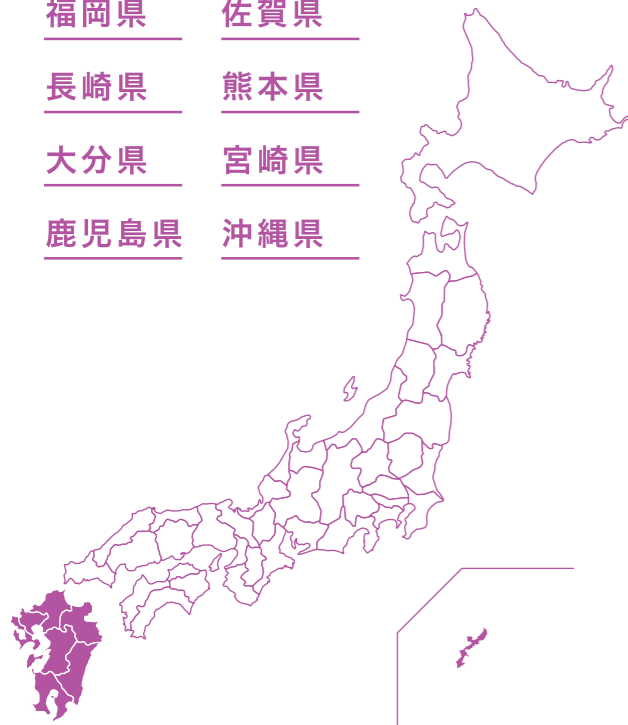
子どもたちの安全を守る 黄色い学童用傘を配布

子どもの交通事故防止をめざし、平成31年度から毎年、県内の新小学校1年生を対象に黄色い学童用傘を寄贈。傘は5月以降、県の各JAを通じて小学校・教育委員会に配布され、子どもたちへと手渡されました。寄贈先から「小学校1年生の事故は、学校に慣れた5月頃に多い。安全に配慮した傘をいただき大変ありがたい」などの声があり、来年度も実施する予定です。



九州エリア

- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県
- 大分県
- 宮崎県
- 鹿児島県
- 沖縄県



福岡県

地元農産物・加工品の 魅力をPRする 「JAにじ農業祭り」の開催を支援

農産物に関する催しを通じて、地域の皆さまへ地元の農産物や加工品の魅力を伝えるイベント「第16回 JAにじ農業祭り」の運営支援を行いました。当日は、農産物品評会や朝採り野菜詰め放題のほか、小学校食育かるた大会、キッズダンスといった子ども向けの催しも開催。5,000人以上の来場があり、幅広い世代の方々に楽しみながら地元農業に親しんでいただく機会となりました。



熊本県

暗い夜道を安心の光で照らす くびかけLEDライトを寄贈

交通事故の減少をめざし「仁くん杏ちゃんくびかけLEDライト」を寄贈。JA共済連熊本のオリジナルキャラクターを使用した親しみのあるデザインで、各地区警察署や地域住民等に配布されました。児童・生徒の部活動の帰り道や、大人の方もジョギングや犬の散歩などの場面で活用いただけているほか、農業イベントで配布した際にも非常に人気が高く、幅広い世代に使用していただいています。



大分県

研修用農業機器等により 未来の担い手育成を支援

県内農業の振興を担う人材を育成する教育研修施設「くじゅうアグリ創生塾」設立に際し、研修で使用する農業機械等(乗用トラクター、管理機、平うね整形マルチ機、小型乗用運搬車、ワゴン車、軽トラック)を寄贈しました。寄贈式では、大分県学校農業クラブ連盟会長より「県農業を担う人材となるよう、農業機械を活用します」とお言葉をいただきました。今後も県農業を牽引する担い手育成を支援していきます。



宮崎県

交通事故のない、安心して暮らせる地域のためにカーブミラーを寄贈

地域の交通事故防止活動の一環として、交通事故が多発傾向にある宮崎市を含む県内の26自治体に対し、カーブミラーを寄贈しました。寄贈先の各自治体から「地域住民の安全な生活を守るために有効活用します」などの感謝の言葉をいただきました。今回寄贈したカーブミラーが、地域の安全につながることを願っています。



鹿児島県

子どもたちの健やかな成長のためにちびっこサッカー大会を開催

子どもたちの健全な育成および、地域の皆さまとJA・JA共済との接点づくりを目的に、沖永良部島内の保育園・幼稚園・子ども園児を対象とした6人制の「第7回 JA共済ちびっこサッカー大会(U-6)」を開催しました。今年度は、18チーム・139名の園児が参加。どの試合も、コート中に子どもたちの元気な声が響き、園児たちのはつらつとしたプレーに保護者から熱い声援と拍手が送られていました。



WEBサイト「ちいきのきずな」でも、地域貢献活動にかかるさまざまな情報を紹介しています。

<https://social.ja-kyosai.or.jp/>



おうち時間を充実させよう!

JA共済では、新型コロナウイルスと向き合いながら暮らしていく新しい生活様式の中、ご自宅で「健康で安心して過ごせる」「子どもたちが楽しく交通ルールを学べる」各種お役立ちコンテンツをご用意しています。家族みんなで過ごす“おうち時間”に、ぜひご利用ください。



沖縄県

子どもの貧困問題解決のため支援団体へ食料品を寄贈

食の提供を通じて子どもたちの成長を支援するため、子ども支援団体へ食料品を寄贈しました。令和元年度で4年目となる本取り組みは、沖縄県の「子どもの貧困実態調査」で、県内の子どもの貧困率が高いことが確認されたことを受けて実施しているものです。寄贈式では、知事から「これまでも多くの子どもから喜びの声が届いている」などのお言葉をいただきました。



<https://social.ja-kyosai.or.jp/prefecture/>



47都道府県の地域貢献活動を紹介『ちいきのために』

JA共済が各都道府県で実施している地域貢献活動を記事形式でご覧いただけます。また、各都道府県の郷土料理をご家庭で再現できるレシピや、お祭り、伝統芸能など各都道府県の魅力を伝えるコンテンツが満載です。



交通安全が学べるコンテンツ

JA共済では交通事故のない社会をめざして、幼児からシルバー世代までの幅広い世代の方々に、楽しみながら交通安全を学んでいただけるよう多数の「交通安全教育コンテンツ」を公開しています。



※学校等で開催される交通安全教室の資料としてもご利用いただけます。